

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、III、V】
2 実施対象者	札幌市立東月寒中学校 全校生徒・保護者 520名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (道徳) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちがオリンピックやパラリンピックの理念や価値を学びとともに、スポーツの価値の再認識を通じ、スポーツに親しむようになるとともに、国際的な視野をもって世界の平和に貢献できる人材を育成する。 社会の課題の発見や解決に向けて他者と協働しつつ主体的に取り組む態度や、多様性の尊重（人間としての共通性、他者への共感、思いやり、優しさ等）、公德心（マナー、フェアプレー精神、ボランティア精神、おもてなし精神等）の育成・向上を図る。
5 取組内容	<p>○実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> オリンピック・パラリンピアン の講演会を全校道徳と位置付けて実施した。 講演会後の道徳において、オリパラ教育のDVDを活用するなどして、フェアプレー精神や国際平和についての理解を一層深めた。 健全育成推進会の講演会と共催で、本校卒業生でブラインドサッカーの日本代表を講師に招き、パラスポーツの理解を深めるとともに、多様性を尊重して共生社会の実現に向けての考え方を学んだ。 <p>○指導計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年10月3日（火） 講師：成田 郁久美氏（元女子バレーボール日本代表、オリンピック選手）

演題：「オリンピック出場とスポーツを通じて養ってきたこと」

- ・全校生徒対象の「道徳」として扱う。
- ・生徒・保護者など約520人が参加した

< 成田氏の講話内容 >

○自身の競技人生を振り返り、当時の思い出やエピソードについて、中学生にわかりやすくお話してくれた。

・小学校時代は、1セットも落とすことなく全国優勝した。中学校時代はあまり練習をせず全国大会に出場したが負けたことを話し、頑張らなかつた中学校3年間が今でも心に引っかかっていることを語った。

・中学校の北海道選抜の一員として出場した全国大会でも日本一を取れなかつた。このことが本当に悔しく、北海道一番の強豪校へ進学し再び日本一を目指した。

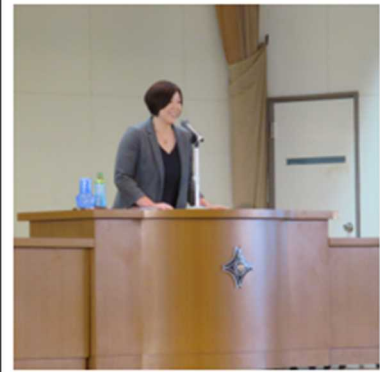
・また、高校時代に猛練習したことで「自信をもつようになった」とし「長い時間というわけではなく、短い時間でも目標を決めてやりきって、試合や試験などに臨むことが大事」と話した。

・これまで試合に負けたことや失敗したことなどを振り返り「失敗したときに感じる気持ちを忘れずにいると目標を達成することができる。中学生は勉強や部活、恋愛、受験などいろいろなことがあると思うが、失敗しても上手くいっても一つ一つが自分をつくっていく」と話した。

・高校時代に「今に全力を尽くすこと」今、頑張れない人は、明日も明後日も頑張れないということを学んだ。「今に全力、過去にクヨクヨしない。未来に不安を感じない」生徒の心に残る言葉であった。

・講演会の最後に「今の積み重ねが、明日、明後日、1年後、10年後とつながっていく。日々の積み重ねを意識して頑張ってほしい」とのエールをいただいた。

○成田氏の講演会の様子。



○健全育成推進会講演会の様子。
(ブラインドサッカーの紹介)



6 主な成果

- ・成田氏の講演内容は、生徒にとって身近な部活動の話が多く、たいへん理解しやすく、興味を引く内容であった。
- ・高い目標を目指し希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意思をもつことの大切さを学ぶことができた。
- ・オリンピックをはじめとする国際大会での経験が豊富であり、講演の内容から「国際理解や国際平和」などについても学ぶことができた。
- ・生徒の感想文には「失敗したときに感じる気持ちを忘れずに目標に向かって頑張ること」「何事にも一生懸命やりきること」などが大切であるということが多く記されていた。
- ・講演会を受けてからの各学年の道徳の授業において、「内容項目：1-（2）強い意志」に関する題材を配列し、より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意思をもつことの大切さを効果的に学ばせることができた。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	今後、オリンピック・パラリンピックに関連付けての、異文化についての学習、東京 2020 大会の環境保全に関する学習、日本の伝統文化についての学習、ボランティアに関する学習など、どの題材をどのように配列し学習することが効果的かについて検討していく必要があると考える。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。